



藤原 米光 議員
(明和会)

8月9日大雨洪水災害の対応は 被害総額3億6000万円余り

Q 8月9日の集中豪雨の被害が250カ所以上、道路冠水や路肩の崩壊等が175カ所と報道されているが、現在の状況と被害額、復旧の見通しについて伺う。

また、災害発生時の土のつを含め非常用資機材の準備状況と要請を受けた際の体制について伺う。

A 【総務部長】 土木被害箇所301カ所、被害額は2億4160万円ほど、農地や農業施設被害は252カ所、1億2000万円となっている。復旧は迅速に対応するが、国の補助事業は、査定が10月中旬ごろからであり、復旧工事は、その後になるものと思ふ。非常用資機材の備蓄は、本庁と総合支所、振興センター、消防署に配備している。土のうなどの要請があった場合、職員や消防団が対応するが、今回は突然の集中豪雨で一度に増水被害が発生したこと、資機材や職員を送り対応した。急ぎよ、資機材や職員を送り対応した。

市は現状を把握しているか。放置された経緯と市の今後の対応を伺う。

A 【生活福祉部長】 廃油精製などを手がけていた業者が、平成18年12月から廃食用油などが入ったドラム缶200本を放置し悪臭がする状況にある。このため、県と消防署と連携し、オイルマットの敷設、油の回収などを実施してきたが、農業用水路への流出などが懸念される。県が平成21年8月に原因者に対して撤去の措置命令を発し速やかな撤去等を求めたが、履行されていない状況である。



農地への被害も甚大

産業廃棄物について

Q 湯本地区において、5年ほど前から廃食用油の入ったドラム缶が大量に放置されていると聞いたが、



阿部 一男 議員
(平和環境市民クラブ)

高齢者を地域で見守る施策必要 支援ネットワークの構築を図る

Q 一人暮らし高齢者が地域で安心して生活できるように、市が自治会や民生委員、社会福祉協議会と連携し、日常的な安全確認体制をとることについて伺う。

また、買い物支援が必要な高齢者の実態を市が調査し、買い物車両運行を行う等の施策を講ずることを伺う。

A 【生活福祉部長】 災害時を含む日常的な地域での見守り活動支援のため、災害時要援護者の台帳整備を行い、支え合いの仕組みづくりを進めている。本年度は新たに、見守り体制強化のため、郵便、宅配便、新聞店等事業者と連携し高齢者見守り支援ネットワーク構築の協定書を締結し、官民一体の地域安全確認体制の確立を図る。また、買い物に苦勞する高齢者支援は、社会福祉協議会が実施している商店街等への送迎支援のほか、国の地域自立型買い物弱者支援事業による民間事業者等の移動販売車の取り組み状況やニーズ調査を見極めていく。



活躍する買い物支援タクシー(大迫地域)

農業および国民健康保険制度など医療への影響について、どう認識しているのか伺う。

A 【農林水産部長】 8月に行われたTPP交渉の際、国会の内容をホームページで公表した国もあるが、わが国は交渉参加の時点で守秘契約を結んだことを理由に、自国の提案はもとより交渉内容も公表していない。そのため、市としても、一部マスコミ報道による情報しか持ち合わせていないことから、お答えできる状況にない。

TPP参加の影響は

Q わが国がTPPに参加した場合、本市の米、果樹、畜産などの



鎌田 芳雄 議員
(花巻クラブ)

湯口中、大迫中の改築計画は 平成28年度末の完成を目指す

Q 老朽化が進んでいる湯口中学校、大迫中学校の各校の生徒が安全で安心して学べる環境づくりのための校舎改築に向けて、湯口中学校に2355万円、大迫中学校に2480万円が補正予算計上されているが、今後の工事着手から工事完成までの工程と、改築計画の規模について伺う。

A 【教育長】 校舎改築は、建築年の古い大迫中学校、湯口中学校の順に進めることとしていたが、老朽化の進行が著しいため、両校の改築に同時に着手することとし、基本設計に要する経費は、本定例会に補正予算として提案している。基本設計の段階では、学校と十分に協議を重ねながら進めていきたい。その後の着手までの工程は、平成26年度中に実施設計を行い、可能な限り早く改築工事に着手したい。そして、屋外整備も含め、28年度末の完成を目指したいが、国の交付金の状況も判断する必要があるため、希望というところでご理解いただきたい。

開票と決定したが、大石市長の3選に向けた決意を伺う。

A 【市長】 過日、後援会役員会を開催していただき、役員の方々の意見をいただいた。それを受けて、現在、まさに熟慮を重ねているところである。



改築される大迫中学校(左)と湯口中学校(右)

Q 任期満了に伴う花巻市長選は、来年1月19日告示、26日投

A 【教育長】 本年4月に実施した全国学力学習状況調査(全国

中学校数学の現状は

Q 県教育委員会が公表した全国学力テストの結果によると、特に、中学校数学について、前年度よりも全国平均との差が開いているが、本市の中学校数学の学力の現状はどうか。また、数学の力不足について、どのように考えているか。

A 【市長】 市の災害対策本部にの要請は、今回は消防団や市職員が対応に当たった。しかし、災害の状況によつては、公共土木施設等の応急対策業務に関する協定を締結している岩手県建設業協会花巻支部に、土のうなどの資機材の配備を要請して対応することとしている。



8月9日、各所で発生した土木被害

学力テスト)における本市の中学校3年生の数学の状況は、県の平均正答率は上回っているものの、全国と比較すると、「A問題(基礎知識の定着を図る問題)で3.2ポイント、「B問題(活用能力を図る問題)で4.1ポイント下回る状況である。今後は、基礎の定着をさらに図るとともに、応用力の向上と読解力、国語力をさらに養っていく必要があると考えている。

市政「こが聞きたい」
いっぱん質問

市政「こが聞きたい」
いっぱん質問